

令和6年 第1回臨時会
令和 6年 1月18日

松川町議会会議録



松 川 町 議 会

令和6年

第 1 回 臨 時 会

令和6年 第1回 松川町議会臨時会

会 期

令和6年 1月18日 1日間

日 程 表

月日	曜日	日 程	頁
1.18	木	開 会 令和6年1月18日（木曜日） 午後 1時00分 開会宣告 議事日程の報告 日程第 1 会議録署名議員の指名 日程第 2 会期の決定 日程第 3 町長あいさつ 日程第 4 議案審議（1件） 議案第1号 日程第 5 町長あいさつ 閉会宣言	8 10 14

付議議案および議決結果一覧表

《 議案審議 》

議案番号	議 案 名	上程月日	議決月日	結 果	議決頁
議案第 1 号	令和 5 年度松川町一般会計補正予算（第 11 回）について	1 月 18 日	1 月 18 日	否 決	10

令和6年 松川町議会 第1回臨時会
(第 1 日 目)

令和6年第1回松川町議会臨時会会議録 (第 1 日 目)

令和6年1月18日（木曜日）

午後1時00分 開議

開会宣告

議事日程の報告

日 程

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 町長あいさつ

第 4 議案第 1 号 令和5年度松川町一般会計補正予算（第11回）について

第 5 町長あいさつ

閉会宣言

出席議員 12名

(別表のとおり)

欠席議員 0名

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職・氏名

(別表のとおり)

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

(別表のとおり)

開会宣告

○議長（中平文夫） 出席議員が定足数に達しておりますので、ただいまから令和 6 年第 1 回
松川町議会臨時会を開催いたします。

議事日程の報告

○議長（中平文夫） 議事日程の報告であります。本日の日程につきましては、お手元に配布
のとおりであります。

本日の臨時会に、理事者、各課長、局長、館長の出席を求めています。

株式会社チャンネル・ユーのケーブルテレビ生中継の許可をしてあります。

=== 日程第 1 会議録署名議員の指名 ===

○議長（中平文夫） 日程第 1、会議録署名議員の指名についてであります。会議規則第 126
条の規定により 6 番、川瀬八十治議員、7 番、大蔵 洋議員を指名いたします。

=== 日程第 2 会期の決定 ===

○議長（中平文夫） 日程第 2、会期の決定についてお諮らいたします。

本臨時会の会期につきましては、本日 1 日限りとしたいと思いますが、ご異議ござい
ませんか。

（「異議なし」との声あり）

○議長（中平文夫） 異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日 1 日といたします。

=== 日程第 3 町長あいさつ ===

○議長（中平文夫） 日程第 3、町長あいさつであります。

北沢町長。

○町長（北沢秀公） 臨時議会に際しまして、あいさつをさせていただきます。

まずはこの 1 日、能登半島沖で起きました地震によりお亡くなりになられた皆様へ、
謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。1 日も
早い復旧、復興を願うところであります。

町としましては、長野県と連携を図る中で、この 28 日から、家屋の被害認定調査員として職員を 1 名派遣をいたします。長期にわたる支援を視野に入れ連携する中で、今後におきましても、2 次避難場所、職員派遣等でき得る支援について、引き続き協力をし
てまいりたいと思っております。

地震、航空機事故で始まってしまった本年でありますけれども、今後におきましては、
穏やかな平穏な日々を願うところであります。

昨日、三遠南信自動車道青崩トンネルを視察させていただく機会に恵まれて行ってまいりました。喬木に入りますと阿島では、まずはリニアの橋脚部分がルートとしてははっきり分かるように進んでいることが確認できます。そして進んでいきますと、矢筈トンネル手前では、大手ゼネコンの事務所が建ち、トンネル工事・橋脚工事が進んでいるのが見えてまいります。矢筈トンネルを抜け、上村・南信濃の国道 152 号は、現道利用ということで、この道を自動車専用道路と同時に利用していくことになる考えると、遠山の地は大きく変わるなということを実感できました。

青崩峠のトンネルにおいては、長野県側の工事はほぼ完了している状態、静岡県側はまだということで、県境において完了前と完了後を見ることができました。飯田国道建設事務所とも話をする中で、子どもたちに希望者を募り、世界的にも難工事であったトンネルを見学できるようなことをしてまいりたいと考えているところでもあります。

この工事を見させていただくことで、松川町から少し遠いところの話、まだ先のような話の気がしておりましたけれども、身近な地で大規模な工事が行われ、松川町にも大きな効果がある事業であります。町としましても、スピード感を持ち、しっかりと未来を見据えた取組をしなければいけないと改めて実感をしてきたところであります。

さて、本日の議事事項は、補正予算 1 件でございます。

内容につきましては、旧老人福祉センター改修に関わる設計業務委託であります。この件に関しましては、本日に至るまで大変に多くの時間をかけ、ご説明、また現地視察等をしていただいております。内容につきましては、ご承知のとおりであります。この事業は、現在ご不便をおかけしていることによる代替の施設であるということ。また、この計画ある、なしに関わらず、改修が必要である施設であるということを踏まえ、何卒ご理解をいただき、改修をお願いするところであります。

まずはこの施設改修を 1 日も早く行い、事業を実施することで、ようやく町として一歩進むことができると考えております。そして何より、この一歩により、未来に向け改めて議論ができると思います。町が未来に向け進んでいくためにも、議会の皆様のご理

解をどうかお願いするところであります。

重ねてになりますが、どうかこの事業におきましてご理解いただけることをお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

=== 日程第4 議案審議 ===

◇ 議案第1号 令和5年度松川町一般会計補正予算（第11回）について

○議長（中平文夫） 日程第4、議案第1号、令和5年度松川町一般会計補正予算（第11回）についてを議題とします。

説明を求めます。

黒澤副町長。

○副町長（黒澤哲郎） それではお願いいたします。

= 議案第1号 朗読・説明 =

○議長（中平文夫） 説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

米山郁子議員。

○5番（米山郁子） それでは歳入のところをお願いしたいんですが。

事業債で緊急防災・減災事業債に充てていらっしゃるんですが、これは耐震でも使えるということでございます。しかしながら、やはりその防災の拠点というか避難所みたいなところもされるのかどうか。これをお使いになった経緯をご説明していただきたいのと、それから設計費1,000万、委託料でございますけれども、地域活動支援センターを委託される事業所はお決まりになったのかどうか、今日時点でどのようなになっているのかをお聞かせください。

○議長（中平文夫） 米山総務課長。

○総務課長（米山政則） まず1つ目のご質問でございますけれども、この旧老人福祉センターの改修にあたりましては、防災拠点として避難所としても活用できる施設として改修をしていくということで、本起債を活用するものでございます。

○議長（中平文夫） 塩倉保健福祉課長。

○保健福祉課長（塩倉智文） 2つ目の質問であります地域活動支援センターの事業所なんですけれども、応募していただいた業者がございまして、今週プロポーザルによる審査を

行う予定でございます。

○議長（中平文夫） 米山議員。

○5番（米山郁子） 避難所として活用されるということでございますけれども、ちょっと今、あそこに行くあの道路ですね。あの辺も非常に狭く、もし地震が起きた場合っていうのは行けるかどうか分からない状態で、避難所に設定するっていうところがどういうことかなというふうに思うんですが。いつも行政がおっしゃるのは、避難所をいくらたくさん作ったとしても、その地域の人数に限りがあるので、例えば生田ですね、「あまり避難所を作らない」というような答弁をいつもされていますが、今回、「今、避難所も考えている」というようなご答弁いただいて、今、不思議に思っているんですが、その点、本当にそういうことでよろしいのでしょうか。改めてしっかりお聞きいたします。

○議長（中平文夫） 米山総務課長。

○総務課長（米山政則） 今、生田地区の例を出されて、それだけ収容できる施設がないからあまり避難所を作らないということは、私一度も申したことはございませんで、可能であれば避難所は、町民の皆さんが避難をできる施設を可能であれば確保していくということは、当然のことかというふうに思っております。

○議長（中平文夫） ほかにございませんか。よろしいですね。

（「なし」との声あり）

○議長（中平文夫） それでは、質疑なしと認めます。

質疑を終結し、討論を行います。討論はありませんか。

米山郁子議員。

○5番（米山郁子） 反対で討論させていただきます。

今週、プロポーザルで委託先が決まるということでございますけれども、やはり地域活動支援センターは、行政として、障害者総合支援法に基づく大切な事業でございます。これにあたりまして、今週決まるとはいえ、利用者やまた決まった委託事業者のご意見を聞いていない置き去りにした状態と言えらと思いますので、今回、まだ設計費は反対させていただきます。

○議長（中平文夫） ただいま反対意見がありましたので、続きましては賛成の方の討論はありませんか。

川瀬議員。

○6番（川瀬八十治） それでは、賛成の立場で討論させていただきます。

この老人福祉センターは、元気センターから替わってここを改修して使うということ

になりました。もともとハローミヤの跡地の件が始まって、建物を購入して、その後、解体して新たに建てるというようなことも含めて、全て予算に関連しては議会のほうも賛成してきたわけでございます。

実際、かなりのお金を使ってきている部分もありますし、ここで反対をしてストップをかけたら、またいつになるか分かりません。町長の言われる早急に改修して利用したいという考えから始まって、やはり先に送ることはできないかなというふうに思っております。できるだけ早急にやっていただきたいということは事実だと思います。そうでないと、これが進まないと、今までやってきた期間、また費やしたお金全てが無駄になるのかなというふうに思っておりますので、そういうところから一刻も早く進めるべきということで賛成いたします。

○議長（中平文夫） ただいま賛成の意見がありましたので、反対の意見の方はございますか。

大蔵議員。

○7番（大蔵 洋） もう少し検討すべきじゃないかという観点から、今回の補正の計上には反対をいたします。

平成29年の12月11日に福祉総合計画推進協議会から町長に、社会福祉施設のあり方に関するまとめとして提言が出され、その時点で町ではあそこの老人福祉センターをほかの場所に移築すると、元気センターとかそういう話が出る以前の前の話ですね。それから今日まで6年を経過しております。

その間に行政の共生社会に対する取組のはっきり言って不足ですね。それが今日まで尾を引いているわけですが、あそこの老人福祉センターを移設するというのは、管理者視点、それから利用者視点の観点から見て、あそこでは耐震改築・耐震補強しても、いろいろな観点から総合してあそこではまずいだろうという、一度そういうような結論は町が出しているわけですね。それから、今回、今後、共生社会にどのように取り組んでいくかは「コーディネーターを入れて係までつくって考えていく」というようなお話もされておりますけれども、どういう方向性を出してから取り組んでも遅くはないと考えます。

利用者の方々には、非常にご不便をおかけしますが、それでも、「えみりあ」の活用状況もいまいちだということで、「えみりあ」をもっともっと使っていただく、とりあえずその方向性が出るまで、そういうようなことも可能だと思いますので、まずはもっと協議をして、その方向性を出してから、じゃああそこの老人福祉センターを改築するのは妥当なのかどうか、そういう検討をすべきじゃないかと思います。

その観点から反対をさせていただきます。

○議長（中平文夫） ただいま反対意見がありましたので、賛成の方の討論はありますか。

坂本議員。

○9番（坂本勇治） 賛成の立場で意見を述べたいと思います。

そもそも老人福祉センターは、耐震補強が必要だという時点で、私、個人的には建設に携わる者として、皆さん、図面を見られたかと思いますが、1階と2階に1か所ずつ、2か所の壁をつけるだけで耐震強度が耐えられるというような状態でありました。そこであれが使えないっていう状態で、町のほうで行政側が判断したところがそもそも間違いであったと、私、個人的には思っています。

ハローミヤの施設を使うっていうのも良かったかと思いますが、あれこそ耐震補強の必要がない施設だったにも関わらず壊してしまったと。そういった紆余曲折がある中で、もうこの老人福祉センターを使うと決めた以上、一日も早く次の段階に進むべきだと思いますので、今回に関して賛成の立場として意見を述べさせていただきます。

以上です。

○議長（中平文夫） ただいま賛成の意見がありましたので、反対の方はいらっしゃいますか。

間瀬議員。

○12番（間瀬重男） 反対の立場から討論をさせていただきます。

これまでに私は、北沢町長の元気センター建設計画撤回方針に疑問を呈してまいりました。利用者のために長年進めてきた元気センターの建設目前にいきなり建設撤回は、今でも納得がいけないわけであります。なぜならば、撤回の理由が建設費も含めた客観的・総合的という分かりにくい理由でございます。障がい者も含めた利用者にとって非常にハローミヤ跡地は良い場所であり、内外からも期待をされていました。

今回の老人福祉センターの改修計画については、場所的に老人や障がい者にとって本当に適切な場所とは言えません。今回、元日の能登半島地震のような大災害に対しても、福祉施設として適した場所とは思えません。

そんなことで、利用者、事業者、町民によるハローミヤ跡地も含めたゼロベースでのまた考え直すべきだと思います。それが駄目なら、やはりもっと障がい者に関わる福祉施設としての大災害にも耐え得る良い場所を選ぶべきだと思います。

そんなことで私は利用者の立場から、あの場所がよろしくないということで、反対の討論といたします。

○議長（中平文夫） はい、両方、出ております。賛成、反対の意見は簡潔にぜひお願いした

いと思います。

今、反対の意見が出ましたので、賛成の方はいらっしゃいますか。

(「なし」との声あり)

○議長(中平文夫) ないようですので、これで打ち切りたいと思いますけど、よろしいですか。

(「なし」との声あり)

○議長(中平文夫) それでは討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第1号について、原案に賛成の方の起立を求めます。

(起立5名)

○議長(中平文夫) 賛成の方が5名でありました。

本日の人数からいきますと賛成の方が5、で、起立されない方が6という形でありますので、賛成が少数という形になります。

よって、原案は否決という形になりました。よって、議案第1号、令和5年度松川町一般会計補正予算(第11回)については、原案につきましては否決となりました。

以上をもちまして、本臨時会に付議された議案は全て終了しました。

これにて閉会することに異議はございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○議長(中平文夫) 異議なしと認めます。

=== 日程第5 町長あいさつ ===

○議長(中平文夫) それでは日程第5、町長あいさつであります。

北沢町長お願いします。

○町長(北沢秀公) ただいまは審議、またご決断いただきまして大変にありがとうございます。

このことに関しましては、真摯に受け止めてまた検討してまいりたいと思います。

以上、ありがとうございました。

閉 会

○議長(中平文夫) 以上をもちまして、令和6年第1回松川町議会臨時会を閉会といたします。

閉 会 午後 1 時 2 5 分

議員・説明員・事務局出席表

I. 議 員 出 席 表

議 席 番 号	氏 名	第 1 日
		1 月 18 日
1	星 野 光 洋	○
2	塩 沢 貴 浩	○
3	米 山 義 盛	○
4	加賀田 亮	○
5	米 山 郁 子	○
6	川 瀬 八十治	○
7	大 蔵 洋	○
8	—	—
9	坂 本 勇 治	○
1 0	—	—
1 1	米 山 俊 孝	○
1 2	間 瀬 重 男	○
1 3	松 井 悦 子	○
1 4	中 平 文 夫	○

Ⅱ. 地方自治法第 121 条の規定による出席者の職・氏名

職 名	氏 名	第 1 日
		1 月 18 日
町 長	北 沢 秀 公	○
副 町 長	黒 澤 哲 郎	○
教 育 長	小 平 順 一	○
総 務 課 長	米 山 政 則	○
まちづくり政策課長	下 井 昭 二	○
住 民 税 務 課 長	伊 藤 孝 光	○
会 計 管 理 者	伊 藤 孝 光	○
保 健 福 祉 課 長	塩 倉 智 文	○
産 業 観 光 課 長	田 中 学	○
建 設 水 道 課 長	原 高 広	○
リニア対策課長	小 沢 雅 和	○
こ ども 課 長	中 村 昌 彦	○
生 涯 学 習 課 長	高 根 竜 二	○
図 書 館 ・ 資 料 館 長	福 島 俊 美	○
議 会 事 務 局 長	佐々木 保	○

Ⅲ. 本会議に職務のため出席した者の職・氏名

職 名	氏 名	第 1 日
		1 月 18 日
議 会 事 務 局 長	佐々木 保	○
書 記	竹 村 一 希	○

以上、会議の内容に相違なきことを認め、地方自治法第123条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

松川町議会議長 中 平 文 夫

署 名 議 員 川 瀬 八 十 治

署 名 議 員 大 蔵 洋